

**「SDGs ラジオ」でコンテンツの配信を開始
～次の世代を担う子どもたちに向けて持続可能性について学ぶ機会を創出～**

三菱地所レジデンス株式会社（以下、三菱地所レジデンス）は、株式会社ケシオンが運営する全国の児童・生徒・学生を対象にした、SDGs を学ぶ教育コンテンツ「SDGs ラジオ」において、三菱地所レジデンスの取り組みの配信を開始しました。この度、9月26日（木）に全てのコンテンツが配信されましたのでお知らせします。

■SDGs ラジオ配信開始の目的

- ・全国の子どもたちに1分間のラジオで、住まいにまつわるサステナビリティの取り組み内容をお届けする
- ・出張授業を通じて子どもたちとコミュニケーションを図りながらサステナビリティの学びを提供



■「SDGs ラジオ」について

SDGs ラジオとは、全国の児童・生徒・学生を対象とした企業の SDGs の取り組みを1分間で紹介するストーリーミング型の音声配信サービスです。全国の教育機関および学校関係者は無料で利用することができ、教育の現場では、実践的な SDGs の取り組みを手軽に学べる持続可能な教育コンテンツとなっています。音声は、ケシオンのパートナーの「みみよみ」に所属する視覚障がい者のナレーターが担当しています。

■出張授業について

SDGs ラジオの一環として子どもたちに授業をおこなう学習プログラム「出張授業」にも登録をし、子どもたちとコミュニケーションを図りながら共に学んでいきます。

■配信コンテンツ

テーマ	タイトル
防災	災害時に必要なものは一人ひとり違う
	災害が起きたときの集合場所を決めておくこと
	被災地で非常に困ったトイレの準備を
生物多様性	「生き物」を守るために
	鳥や蝶の中継地点をつくる
木材活用	自然にも人にもやさしい木材活用
	適切に木を切り、新しい木を育てる森林サイクル
CO ₂ 排出量削減	地球の未来にも貢献する ZEH（ゼッチ）とは
	マンションに住むだけで CO ₂ 削減に貢献できる暮らし
	「環境へのやさしさ」を基準にモノを選ぶ

三菱地所レジデンスは、環境や人権に配慮した街づくりと住まいづくりを通して、社会に貢献する企業を目指すとともに、次の世代を担う子どもたちが持続可能性について学ぶ機会の創出について、今後一層注力してまいります。

■配信コンテンツ内容

防災

- ・災害には、日頃から備えておくことが大切。
- ・災害時に必要なものは、家族一人ひとりで違う。
- ・災害が起きた際には、家族との連絡が取りづらくなる。
- ・もしもに備えて、家族との集合場所を決めておくことが大切。
- ・災害時にはトイレが使えない可能性があるため、非常用トイレを用意しておくことが大切。
- ・三菱地所レジデンスが作った「そなえるドリル」で、家族の備えが考えられる。

生物多様性

- ・外来種は、在来種が生きていくために悪い影響を与えることがある。
- ・鳥の中には、一度に 200 メートルほどしか飛べない鳥がいる。
- ・長い距離を飛べない種類の鳥は、好きな木・過ごしやすい木を中継地点にして移動する。
- ・三菱地所レジデンスでは「ビオネットイニシアチブ」を通じて、地域の生き物や植物の環境を守っている。

木材活用

- ・マンションを建てる際には、木材が多く使われている。
- ・木材には認証材と非認証材があり、「非認証材」は生態系への影響や児童労働などのさまざまな問題を抱えている。
- ・三菱地所レジデンスは、2030 年度にはマンションの「型枠材」に用いる木材すべてに「認証材」を用いることを目指している。
- ・年老いた木は光合成をあまりしなくなるため、適切な時期に木を切って、新しい木を植えることが地球環境を守るためにはとても大切。
- ・三菱地所レジデンスは木材を積極的に使い、また、新しい木を植えることで「森林の良いサイクル」を回している。

CO₂ 排出量削減

- ・三菱地所レジデンスでは「ZEH-M Oriented」という環境にも人にもやさしい住まいをつくっている。
- ・「ZEH-M Oriented」は断熱性能を高め、高効率な設備や機器を採用することでエネルギー消費量を約 20%削減する。住居の断熱性能を高くすることは、住む人の健康にもつながる。
- ・「soleco」という高圧一括受電と太陽光発電を組み合わせたシステムを導入したマンションをつくっている。「高圧一括受電」で電気料金を低減し、太陽光発電は災害時にも役立つ。
- ・現在、「環境性能」もマンションを購入する際に重視されつつある。
- ・三菱地所レジデンスでは「マンション家計簿」という冊子を配布し、入居後のエネルギー使用量を、水道光熱費や CO₂ 排出量などの情報に変えてわかりやすく伝えている。

以上